

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 1 月 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		2	2	・法令を遵守したスペースを確保しているが、活動内容や利用人数によって狭いと感じることもあったり、声や音が響くこともあり学習支援のお子さんへ集中できる環境が十分でない時もあるため、今後もスペース確保や利用人数、個々の支援内容を十分に考慮していく必要がある
	②	職員の配置数は適切であるか	4			・児童指導員 3 名常勤している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			4	・受け入れ対象外のため今のところはバリアフリーのこうぞうにはなっていないが、本来はユニバーサルデザインであるべきだと思う
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			・担当の利用者さんだけでなく、全職員で話し合う場を設けている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・アンケートを実施し、結果を室内に掲示している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	・今後第三者による外部評価は必要だと思う
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・初任者研修以外に、市や近隣で行われる研修に参加している
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・統一したアセスメントシートで定期的のアセスメントを行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			同上
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		4		・利用者さんの情報共有や話し合い等は随時、チーム間で行っているが、基本的には 1 対 1 なので担当者が立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			・日々のアセスメントやその日の利用者さんの状況に応じ活動内容を設定している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		4		・個々の課題や状況に応じ、臨機応変に対応している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・個々のアセスメントやその日の利用者さんの様子に合わせて少人数での関わりが持てるような活動内容を設定している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・毎朝、朝の会で当日の利用者さんの確認や、活動の仕方、昨日の利用者さんの報告等をし、情報を共有し、打ち合わせている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		4		同上

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・毎回指導記録を取り、見直しすることでよりよい支援に繋がっている
---	--	---	--	--	----------------------------------

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・保護者さんとのモニタリング、職員間でのケース会議を実施している
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			・アセスメントをもとに優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した個別支援計画を策定している

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・おもに児童発達管理責任者が出席している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			・個々の必要に応じて、学校との連携をはかり、利用者さんについて情報共有している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4		同上
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4	・現在の所対象児はいないが、今後移行となる場合は支援内容等の情報を提供していく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			・研修の機会があれば必ず参加している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	・普段小学校や中学校等で交流の時間を持っているのでここでは機会を持っていない
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			・おもに児童発達管理責任者が出席し、研修へは全職員が参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・児発管は保護者さんの話をいつでも聞ける状態であり、担当支援員は毎回、保護者さんへねらいや支援内容や様子を丁寧に伝え、共通理解を図っている
保護者への説明責	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			4	・保護者さんとお子さんについて話すことは常に心がけており、困りごと等には適切な助言ができるようにはしているが、ペアレントトレーニングの情報提供としては不十分だと思う
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			・契約時に説明している
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・支援計画の見直し時期や、保護者さんが話したい時など、随時児発管が対応できるようにしている
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	・月に一度、土曜日に開催しているイベント時に保護者さん同士の関わりが持てる内容を計画したいと考えている

任 等					
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		・そのような場合には苦情対策マニュアルに基づいて適切に対応していく
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		・ブログやインスタで活動内容やお知らせ等を発信している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4		・鍵付きのロッカーに保存している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	・地域の方を招待できるスペースや職員数に満たないため、こちらからの招待は難しいが、地域のイベント等で参加させていただけるものがあるならば参加したい
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4		・各種マニュアルを策定し、感染症予防や緊急時の避難場所などを教室内に掲示している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		・毎月1回の避難訓練を実施している（地震・火事・水害・不審者対応、等）なるべく多くの利用者さんと避難訓練をできるように心がけている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		・機会があれば全職員が研修に参加できるようにしたい また研修を受けた職員が事業所に持ち帰り、全職員に伝えるようにしている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		4	・現在の時点で対象時はないが、そのような場合には身体拘束について保護者さんに説明し、個別支援計画にも記載していく
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		・初回のアセスメント時にアレルギーの有無の確認を必ず取っている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		・ヒヤリハットの事例が起こった場合は報告書を作成し保管している。起こった事例に関し全職員で話し合い、今後の対策をすぐに講じるようにしている

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」 新鈴鹿校 保護者等数（児童数）10 名 回収数 6 名 割合 60 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	4		・もう少し広いスペースがほしい ・個人的な話がしにくい ・日によって人数が多い時は狭いと感じる
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6			・子どものペースに合わせて分かりやすく支援してもらっている
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	6			・しっかり計画を立ててもらっている
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	5	1		・野外活動や製作、イベントなどが用意されている
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	・交流はないがそれで良い ・子どもが興味あることを活動の中に取り入れてもらっている
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6			・紙面で説明してもらっている
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6			・毎回その日の状況をしっかり伝えてもらっている
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6			・定期的に支援計画を伝えてもらっている
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	1	・保護者同士の交流は少ないが現状で問題ない
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・子どもの状態に早く気づき対応してもらっている ・何かあればわかりやすく説明してもらっている
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1		・他の人の目があるので、なかなかゆっくり…とは難しい ・子どもの情報をしっかり伝えてもらっている
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	6			

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	6			・通所を楽しみに自ら準備している ・帰るのを嫌がるくらい楽しんでいる
	⑱	事業所の支援に満足しているか	6			・親や他の兄弟も支援していただいていたいて有難い ・子どもの気持ちをしっかり考えてくれたり、親身に相談に乗ってもらいとても満足している

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。